

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式						
M314Y307		人工臓器学(循環器系)実習 (Artificial Organ Science: Circulatory System Practical Training)					臨床医工学コース専門分野	対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	1	3	医学部先進医療科学科	前期	金5	日本語		単独						
担当 教員	氏名 穴井 博文													
	E-mail anaiana@oita-u.ac.jp 内線 5138													
授業 の 概 要	循環器疾患においては、心臓機能の代替療法としての補助人工心臓やペースメーカ、心臓・大血管手術時の循環補助を行う人工心肺、心臓カテーテル治療や大動脈ステントグラフトなど、疾患の病態、病因に応じた様々な人工臓器が治療やQOL向上のために用いられている。本実習で人工心肺装置、循環補助装置の操作、および血管内治療法、ペースメーカ移植などで臨床工学士が行う手技を修得する。													
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1	人工心肺装置、循環補助装置の操作法が説明できる													
目標2	血管内治療での臨床工学士の役割が説明できる													
目標3	ハートチームの一員としての役割を説明できる													
目標4	医療機器の安全管理法を説明できる													
目標5	ペースメーカ、ICD、CATDの移植手術、モニタリングについて説明できる													
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								4	1		2		3	
授業の内容														
1	人工心肺 回路組立て・プライミン 座学													
2	人工心肺 回路組立て・プライミン 実習													
3	人工心肺 実際の操作 座学													
4	人工心肺 実際の操作 実習													
5	人工心肺 トラブルシューティング 座学													
6	人工心肺 トラブルシューティング 実習													
7	人工心肺 小児体外循環 座学													
8	人工心肺 小児体外循環 実習													
9	補助循環 IABP、IMPELLAの実際 座学													
10	補助循環 IABP、IMPELLAの実際 実習													
11	補助循環 ECMO(PCPS)の実際 座学													
12	補助循環 ECMO(PCPS)の実際 実習													
13	補助循環 VADの実際 座学													
14	補助循環 VADの実際 実習													
15	ペースメーカ、ICD、CRTDの実際 実習													
ラ イ ク ニ テ ィ ン グ ブ	A:知識の定着・確認	A:レポートのまとめ				工 夫 そ の 他 の	臨床現場での機器の設定、操作を実体験し医療機器への精通度を高める。							
	B:意見の表現・交換	B:口頭試問												
	C:応用志向	:レポートのまとめ												
	D:知識の活用・創造													
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修	参考書による次回配置部署の研修内容の予習(15h)。												
	事後学修	参考書による復習及びレポート作成(15h)。												
	想定時間合計	30												
教科書	教科書は指定しない													
参考書	碓氷章彦、六鹿雅登 編 最新人工心肺(第6版)名古屋大学出版会 2024 ISBN978-4-8158-1171-6、四津良平/平林則行 CEシリーズ人口心肺 南江堂 2016 ISBN978-4-524-22407-4													

